



易からみた  
成功から没落まで

占いの玉手箱主宰  
竹村亜希子様



人生の節目を龍におきかえた話です。

最初、龍は知力、体力、気力の何もない潜龍といえます。次に龍は、見龍、在田の状態になります。今までの努力が実り大人（たいじん）に見い出され、責任を持たされます。この見龍の時代における大人とは、単なる目上の人のことをいいます。そして、見龍が実績をつくるようになると君子になります。この時代は、同じことを何回も繰り返します。繰り返していることに、ミスはなかったかということに注意します。この時代に出てくるミスは、将来起きてくるトラブルの原因になります。そして、龍は、機が熟す一步手前の淵龍になります。この時代に、龍が断崖に立って飛び上がると失敗し、落目が来ます。けれど断崖に踏みとどまって時期を待つと、飛龍になります。飛龍の時代は、不思議なほど何もかもがうまくいき、自分の思った以上の利が上がります。ここまでが1つの組織になります。つまり、潜龍は平社員、見龍と君子は係長か課長、淵龍は部長、そして飛龍が社長です。しかし、この飛龍の時代に龍にとって自分の立場を恐れずに意見を正確に言える大人がいないと龍は亢龍になってしまいます。すべて失敗に終わることになります。飛龍の時代は、大人を大切にすること、自制心が必要となります。この自制心は、潜龍の時代に養われ、君子の時代に育てます。飛龍の時代において、龍が進むべきときには進み、退くべきときには退くということが自然にできればその龍は大成します。



ロータリーの手ほどき

ロータリーに関心のある人が、あなたにロータリーについて質問するとします。あなたは次の基本的質問に答えることができますか？

1. どうして、「ロータリー」という名称になったのですか？
2. ロータリーの創始者は誰ですか？ いつ、どこで創始されましたか？
3. R Iの標語はどのようなものですか？
4. ロータリーを正確に言うと、どういったものでしょうか？

ロータリーは、1905年にオハイオ州のシカゴで、50人の職業家によって創設された。その目的は、職業界の発展と、社会の進歩に貢献することである。ロータリーは、世界中に広がる国際的な組織であり、その活動は、経済の発展、教育の促進、慈善事業の推進など、多岐にわたる。ロータリーの活動は、世界中の多くの人々にとって、有益なものである。ロータリーの活動は、世界中の多くの人々にとって、有益なものである。ロータリーの活動は、世界中の多くの人々にとって、有益なものである。

フェローシップ（親睦）について

米国の多くのロータリー・クラブには女性会員がいますが、それでも、クラブ例会で、「フェロー・ロータリアン（ロータリアンの皆さん）」と挨拶することができます。その理由ですか？フェローとは主として男性の仲間を指しますが、英語の定義によると、フェローとフェローシップは、男性にも女性にも使われます。

情報抄録より

